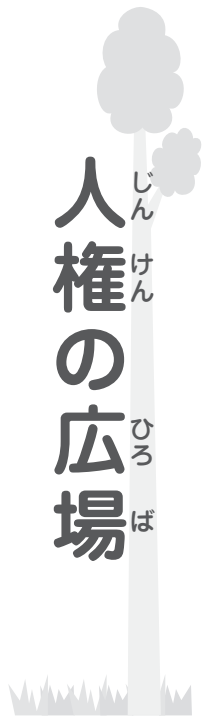


人権の広場



12月10日～16日は 北朝鮮人権侵害問題 啓発週間

北朝鮮当局による「拉致問題」などの人権侵害や、日本に住む朝鮮国籍の人、在日の人への人権侵害問題などについて、私達の認識を深め、人権を大切にしましょう。

問合せ 人権推進課

人権啓発リーダー養成講座 あいあい講座 「ふしぎな部落問題」

2002年に同和对策事業が終了しましたが、それは部落差別がなくなっただけを意味するわけではありません。インターネット上には、どこが部落か? などという情報が氾濫しています。差別を解消しようとする部落解放運動も時を経て、変化を余儀なくされています。「歴史」から学び、「メディア」によって現在を知り、「地域」から未

来の方向性を模索します。どんなでも受講できます。興味のある人は、ぜひ受講してください。

日時 12月14日(木)

午後6時30分～8時

場所 レイクアルスタンプラ

ザ・カワサキ生涯学習センター

定員 20人(先着順)

講師 角岡伸彦さん

申込・問合せ (フリーライター)

12月13日(水)までに

電話・FAX、またはeメール(住所、氏名、電話・FAX番号、年代、講座名を記入)で人権推進課へ

講座名を記入)で人権推進課へ

差別撤廃条例 泉佐野市における部落差別撤廃 とあらゆる差別をなくすことを めざす条例

～平成5(1993)年12月施行～

この条例は、部落差別をはじめ、在日外国人、障害者、女性などへの差別など、あらゆる差別をなくし、一人ひとりの人権が大切にされる「まちづくり」をめざしています。

問合せ 人権推進課

地域の医療連携の中核を担う りんくう総合医療センター

問合せ 地域医療連携室 (☎469-3111 Fax469-7929)

整形外科
整形外科部長兼脊椎センター長
兼リウマチセンター副センター長 金澤元宣



当院の整形外科は大阪大学整形外科(医学系研究科器官制御外科学教室の卒業研修ネットワーク関連病院の一つ)として、指導的立場にある日本整形外科学会認定専門医3人、レジデント2人で日々の診療にあたっています。脊椎センター・人工関節センターを併設し、脊椎外科手術/下肢人工関節手術を中心に、高度な専門的治療に力を注いでいます。脊椎センターでは、あらゆる脊椎・脊髄疾患に対応できるよう心掛けています。人工関節センターでは、ナビゲーションシステムを用いたコンピュータ支援手術を行っています。

現在、金澤元宣整形外科部長(兼脊椎センター長)、藪野瓦平整形外科部長(兼人工関節センター長)、澤田典与司整形外科部長(兼人工関節副センター長)を中心に、5人体制で前記の専門外来を中心に各種整形外科疾患に対応しています。また、救命救急センターとも密に連携し、特に脊髄・脊椎損傷に対しては、できるだけ早期に手術的治療を行っています。

平日は地域医療機関からの紹介を中心に、外来診療を午前2診で行っています。平成25年より完全予約制を導入し、地域の医療機関を連携し円滑な外来診療を心掛け、特に脊椎外科および関節外科、リウマチ領域に特化した診療を行っています。手術以外の保存的治療については、火曜午後と金曜午後に義肢装具を要する患者への処方をする装具外来診を行っています。長期間にわたる継続的で保存的な治療の必要性が見込まれる慢性疾患に対しましては、まず当院で最新の画像診断機器などを用いた原疾患の診断と重症度、進行度を正確に評価し治療方針の検討を行い、理学療法や内服処方による通院治療の実践は地域医療ネットワーク(病病連携、病診連携など)を通して、適切に地域内の各医療施設へ紹介するよう心掛けています。今後も泉州地区の地域医療に貢献できるように、最善の努力をしていく所存です。

外来化学療法室
外来副看護師長 平尾美紀



「外来化学療法室」と聞いてどのようなところなのか、何をするとするのかなのかイメージできない人が多いと思いますので、みなさんに紹介します。外来化学療法室は、当院2階Eプロックにあります。スタッフは、医師1人、薬剤師1人、看護師5人です。治療室にはリクライニングチェアとベッドがあり、お好みに合わせて選んでいただけます。治療中はリラックスできる空間作りとして、BGMにオルゴールのメロディーが流れています。

また、軽食をお持ちいただいたり、本やDVDなどを用意されている人もいらついたり、それぞれの時間の過ごし方をいただいています。こちらに通って来られる患者さんは、抗がん剤治療や輸血療法を受けられていると思います。しかし近年、薬剤の開発が進み副作用の出現を抑えられ、通院での治療が可能になり、当院でも多くの患者さんが通院治療をされています。通院治療のメリットは、住み慣れた環境である自宅を過ごせることではないでしょうか。ご家族やご友人、ペットと過ごす時間も、趣味や仕事も続けながら治療を受けいただけます。また、自宅での困り事など、電話相談も受け付けており、患者さんやご家族に安心して通院治療が継続できるように援助させていただきます。